2026 年度東海がん専門医療人材養成プランセミナー
（東海がんプロ・北信がんプロ共同開催セミナー）
実施報告書

開催概要

日　　時　令和８年１０月８日（木）１８時００分～１９時００分
会　　場　岐阜大学医学部本館１階小会議室
開 催 方 法　現地・Web のハイブリッド
参　加　者　現地 11 名　Web22 名　合計 33 名

講演

「大規模データベースを活用した発がんリスク研究の現状と展開」
信州大学医学部内科学第二教室　若林　俊一　診療助教

総括

本セミナーは、大規模医療データベースを活用した発癌リスク研究への理解を深め、今後の研究展開につなげることを目的に開催した。信州大学の若林俊一先生を講師に迎え、国内外の医療データベースの特徴、脂肪性肝疾患と発癌リスクに関する最新の研究成果、研究上の留意点についてご講演いただいた。質疑応答では、データベース利用に伴う費用や情報セキュリティ、イベント定義の妥当性、研究テーマの適否など、実践的な質問が寄せられ、活発な討議が行われた。北信のシームレスながん医療を担う人材養成プランとの共催により、地域を越えた学術交流を促進できたことも成果である。今後は得られた知見を実際の研究に活用し、施設間の研究連携を発展させていくことが期待される。



信州大学　若林先生


ビッグデータとは？
BIG DATA
IN HEALTHCARE
■ 従来のデータベース管理システムでは扱いきれないほど巨大で複雑なデータ集合「3V」
■ Volume（量）：データの量が膨大
■ Velocity（速度）：生成・更新が速い
■ Variety（多様性）：データの種類が多様
■ 医療では：レセプト、健診、電子カルテ、疾患登録、ゲノム、ウェアラブル機器など

オンライン配信の様子